

第6回 学校危機メンタルサポートセンター・シンポジウム 子どものTrauma-Informed Care（トラウマ・イン フォームド・ケア）とは

PTSDを含むトラウマ関連の問題として、災害や犯罪被害だけでなく、虐待、いじめなども取り上げられるようになってきています。実際、子どもたちは様々なトラウマとなりうる体験をしていることがわかっています。アメリカで行われた逆境的な体験（adverse childhood experiences; ACEs）の疫学調査では、その体験が増えるほど、うつ病、薬物・アルコール依存などの精神疾患だけでなく、様々な身体疾患に罹患しやすくなることや、DV、貧困、低学力などにも関係することがわかっています。

このような状況において、トラウマの影響を理解して対応することの重要さが叫ばれるようになり、トラウマ・インフォームド (Trauma-Informed) という言葉が用いられるようになりました。

このシンポジウムでは、トラウマを抱えていると考えられる子どもをどのようにアセスメントし、ケアしていくべきのか、トラウマ・インフォームド（Trauma-Informed）の観点から考える機会にしたいと思います。

日 時 平成29年3月5日(日)13:00~16:30

講演1 「トラウマを抱えている子どものアセスメントについて」

兵庫県こころのケアセンター副センター長・大阪教育大学客員教授 龜岡 智美

講演2 「性被害児童とその養育者への心理教育～児童福祉の現場から」

大阪府立子どもライフサポートセンター・所長 浅野 恭子

ワークショップ 子どもに対するTrauma-Informed Careの実際

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター・准教授

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター・教授

岩切 昌宏

灌野揚三

対象者 子どもに関わる精神保健福祉や学校関係者（臨床心理士、PSW、養護教諭など）100名まで

会 場 さつきホール(学校危機メンタルサポートセンター内)

參加費 無料

申込方法：

E-mail nmscinfo@bur.osaka-kyoiku.ac.jp宛に、
①住所②氏名③所属と役職④連絡先、「シン
ポジウム参加希望」と書いてお申込み下さい

申込期限：3月1日まで

